平成 26 年６月８日（日）

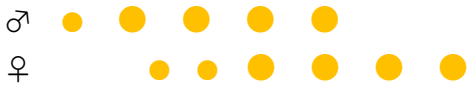
四季の森公園自然観察会「ホタルの里とハナショウブ」

NPO 法人四季の森里山研究会　担当：青木、谷川、川窪、上野

四季の森公園はハナショウブが見頃を迎え、夜にはホタルが舞う季節となりました。本日は、まず木々の緑が濃さを増した景色を見渡し、多彩な色と形のハナショウブを観賞しましょう。さらに、ホタルの一年を想像し、散策路に見られる季節の花や生き物を観察してみましょう。

ゲンジボタル

♂と♀が出会うときの信号



出典：「ホタル 光のひみつ」（栗林慧 著、あかね書房）

ハナショウブ

アジサイ

ガクアジサイ

ホタルブクロ

オカトラノオ

ヤマボウシ

・ホタルの発光

ホタルは、光の強さ、色、光るパターンを見分けて、仲間を識別していますが、地域差があり、ゲンジボタルの光の点滅間隔は、西日本の２秒型に比べ、東日本では４秒型と言われています。種による違いもありますが、不思議なことに成虫以外の時も光っているのです。

・芭蕉のホタルの句

（１）愚にくらく棘をつかむ蛍哉
（２）此ほたる田ごとの月にくらべみん
（３）めに残るよしのをせたの蛍哉
（４）蛍火の昼は消つつ柱かな
（５）草の葉を落るより飛ぶ蛍哉
（６）ほたる見や船頭酔ておぼつかな
（７）己が火を木々の蛍や花の宿

注：松尾芭蕉　寛永 21 年（1644）～元禄７年（1694）
51 年の生涯、総発句数・973 句（山本健吉「芭蕉全発句」講談社学術文庫）

・ハナショウブ（花菖蒲）

ノハナショウブの園芸種。花の色は、白、桃、紫、青、黄など多数あり、絞りや覆輪などの違いから 5,000 種類位あるといわれています。大きく江戸系、伊勢系、肥後系の３系統に、原種の特徴を強く残す長井古種（長井系）を含めると４系統に分類できます。

・アジサイ（紫陽花）

原種のガクアジサイは中心部に両性花、周辺に装飾花があります。装飾花には、花弁に見える３～５枚の萼（ガク）があり、雄しべと雌しべもありますが、それらは不完全なため結実しません。アジサイは、ガクアジサイの両性花が全て装飾花に変化したものです。

★　次回は７月１３日（日）。テーマは『森を歩きリフレッシュ』です。是非、ご参加ください。